

シルバーカー

No.135

アルミワゴンMS



保証書付

保管用

最大使用者体重
75kg以下

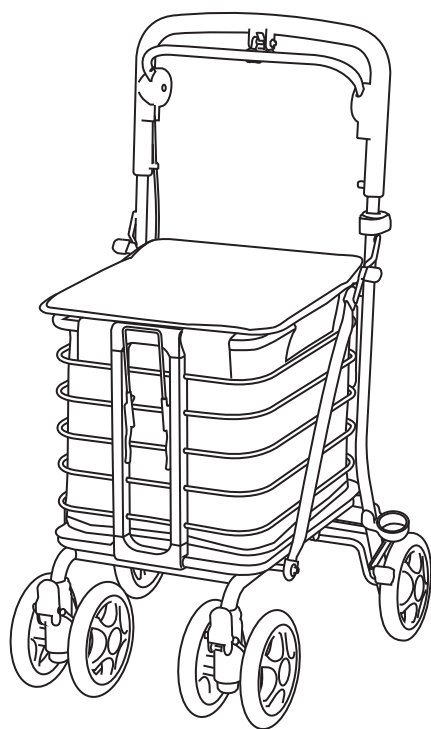
この商品は
座れます

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。ただし、手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や、介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人等には適しません。

使用に適しているか否か不明な場合には、必要に応じて専門家など（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士等）に相談し購入されることを勧めます。

取扱説明書

ページ



安全にお使いいただくために	2
各部の名前	4
車体の広げ方	5
折りたたみ方	5
仕様	5
ハンドブレーキ	6
ハンドル高さ調節	6
キャスターについて	6
駐車ブレーキロックのかけ方	6
座面の使用方法	7
カゴホルダーの使い方	7
ブレーキの調整	7
保管のしかた	8
保証書	8
SGマークの被害者 救済制度について	8



ご購入いただき、まことに有難うございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。


安全にお使いいただくために

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 してはいけない
「禁止」内容です。

 必ず実行していただく
「強制」内容です。

加齢等によって、この製品が合わなくなり危険となる場合があります。屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止すること。また、定期的に専門家等にこの製品が適切かどうかを確認してください。

警告

急激な衝撃や過度の圧力をかけないこと 曲がる可能性があります。万パイプが曲がった場合、修正しての使用は絶対してしないこと
転倒等、思わぬ事故の原因になり危険です。

使用前にロックがかかっているか必ず確認すること
ロックがかかっていないと、使用中に車体が折りたたまれ、使用者が転倒したりして、けがの原因になり危険です。




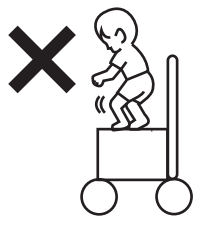

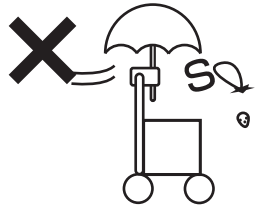
坂道等の使用はハンドブレーキ等を使用し、十分注意をすること。
車体が転倒し、けがの原因になります。


必ず
守る




ハンドル以外のところを持って押さないこと
ハンドル以外のところを持って押すと、車体のバランスが不安定になったり、指や手などはさんだり、転倒したりして、けがの原因になり危険です。

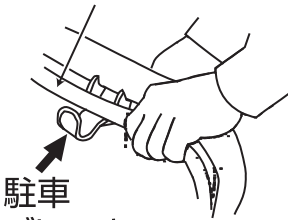
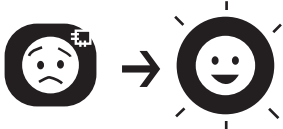
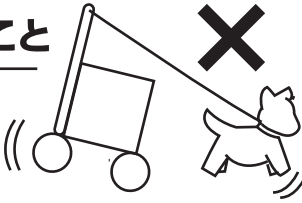
本体を使用される際は、必ず歩いて使用すること
走ったりフレームに足をかけて使用すると、破損したり、転倒したり思わぬ事故の原因になり危険です。

踏み切りを渡るときは、できるだけ線路に対して直角に進んでください。
斜めに渡ると、車輪を取られたり、線路の溝に車輪がはさまったりする恐れがあります。

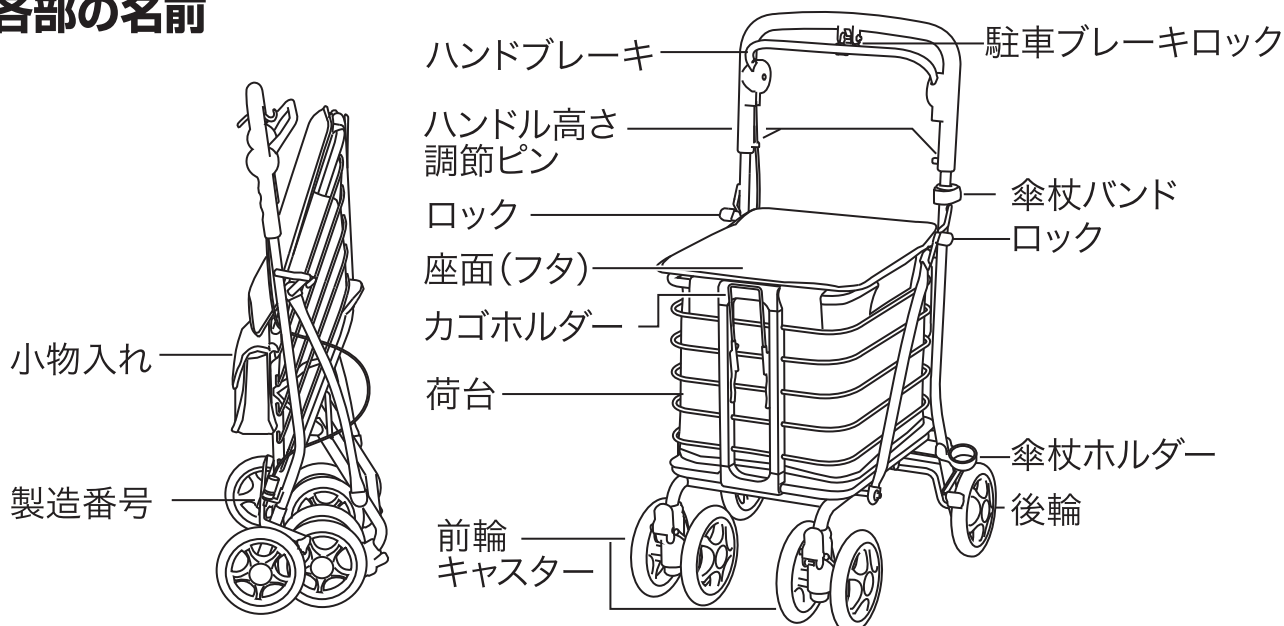
 禁止	<p>改造、分解は絶対しないこと</p>	
	<p>階段やエスカレーターで使用しないこと</p>	
	<p>ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと 車体が移動して使用者が転倒し、けがの原因になります。</p>	
	<p>荷台内に乳幼児を絶対乗せないこと 思わぬ事故の原因になり危険です。</p>	
	<p>子供が荷台に乗ったり、荷台の中に入ったり、車体を押したり、絶対遊ばないようにすること 思わぬ事故の原因になり危険です。</p>	
	<p>雨や雪、凍結時、滑りやすい所では使用しないこと また、砂利道、悪路での使用はしないこと</p> <p>車体が転倒し、けがの原因になります。</p>	
<p>バス・電車などの乗物内では駐車ブレーキロックをかけること 車体が動き出したりして思わぬ事故の原因になります。</p>		
<p>車体にかさ立てやS字型フック・ハンドルに買い物袋やキーホルダーなどを付けないこと 強風であおられたり、ハンドル操作の邪魔になったりして危険です。</p>		

 **注意**

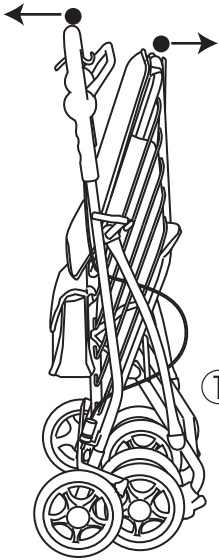
 必ず守る	<p>使用前は各部を点検し、特にハンドブレーキの左右両輪の性能について十分確認して使用すること。</p>	
	<p>車体を開いたり、折りたたんだりの操作は本取扱説明書に従って正しく確実に行うこと 特にハンドルグリップ、ロックが固定されているか確認すること</p>	
	<p>段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがありますまた、段差を斜めに進入しないこと 段差の手前では必ず一旦止まり十分注意して慎重に段差を超えること</p>	

<p>! 必ず 守る</p>	<p>車体から離れる時は、必ず駐車ブレーキロックをかけること 車体が勝手に動き出し、思わぬ事故になる恐れがあります。</p>	<p>ハンドブレーキ</p>  <p>駐車 ブレーキ ロック</p>
	<p>タイヤ及びブレーキの摩耗がないかを保守・点検し、必要に応じて交換すること。</p>	
	<p>火の近くや高温になる場所での保管は避けること 故障、変形の原因になります。</p>	 <p>タイヤの点検</p>
	<p>折りたたみ時、前輪キャスターを直進方向にすること 曲がっているとたためません。</p>	
	<p>折りたたみ操作は手や指等をはさまないように注意すること</p>	
<p>交通の頻繁な所、混雑している所、及び夜間での使用は十分注意すること</p>		
<p>⊘ 禁止</p>	<p>体重が75kgを超える方は使用しないこと</p>	
	<p>荷台内に10kg(載荷重量)以上の荷物を載せないこと</p>	
	<p>駐車ブレーキロックがかかった状態では押さないこと</p>	
	<p>荷台の中以外に荷物をのせたり、吊るしたりしないこと</p>	
	<p>傘や杖等を片手に持ちながら使用しないこと</p>	
	<p>動物または、ペット等を車体につながないこと 車体が転倒し、けがの原因になります。</p>	
<p>雨ざらしにしないこと</p>		

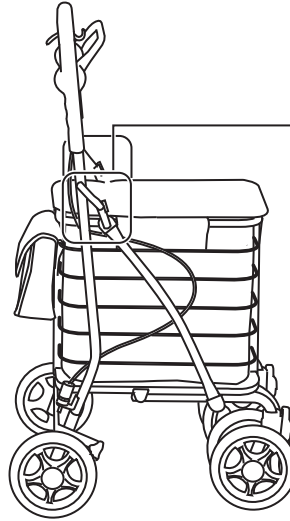
各部の名前



車体の広げ方



① ハンドルと荷台前部を持ち、広げて下さい。

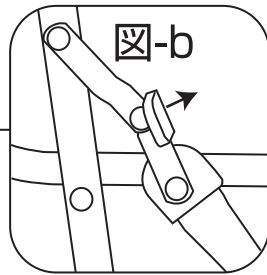
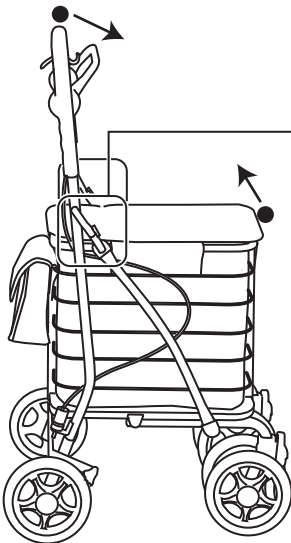


② 左右のロックをかける。 図-a

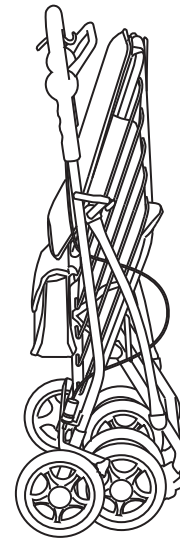
⚠ 警告 ロック部分が「図-a」の様に固定されているか確認の上ご使用下さい。

⚠ 注意 使用の際にはハンドルが固定されている事を確認すること

折りたたみ方



① 左右のロックを 図-b はずす。
② ハンドルと荷台前部を持ち、たたんで下さい。



⚠ 注意 ・折りたたみ時、前輪キャスターを直進方向にすること。曲がっているとたためません。

・折りたたみ操作は、手や指などをはさまないように注意すること

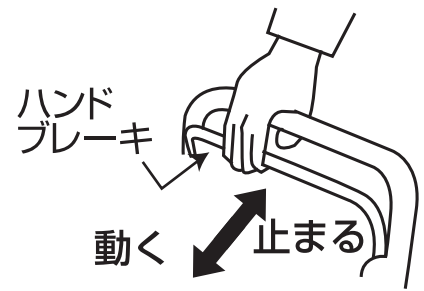
仕様

		内 容			
型 式	No.135				
車 体	ハンドル高さ調節3段階・駐車ブレーキロック・折りたたみ式・3WAYキャスター				
材 質	アルミ・スチール・合成樹脂	質 量	5.5kg		
寸 法	荷台:幅280奥行325高さ300mm 車体:幅450奥行500高さ855~905mm				
積 載 量	10kg	製造番号	車体後部に貼付け	品質保証期間	ご購入日より1年

ハンドブレーキ

ハンドブレーキを握ると両輪ブレーキがかかります。

! 注意 指をはさまないように注意してください。

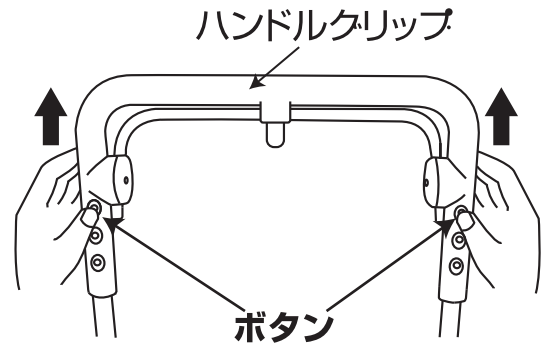


ハンドルの高さ調節 (3段階)

1. ボタンを押さえながらハンドルグリップを動かして下さい。

指で押さえにくい時は鉛筆のおしりで押さえして下さい。(片側ずつの操作でも出来ます)

2. お好みの高さの穴にボタンをはめて下さい。



! 注意 左右同じ高さにして下さい。

先のとがった物でボタンを押さえないでください。中に入る恐れがあります。

キャスターについて

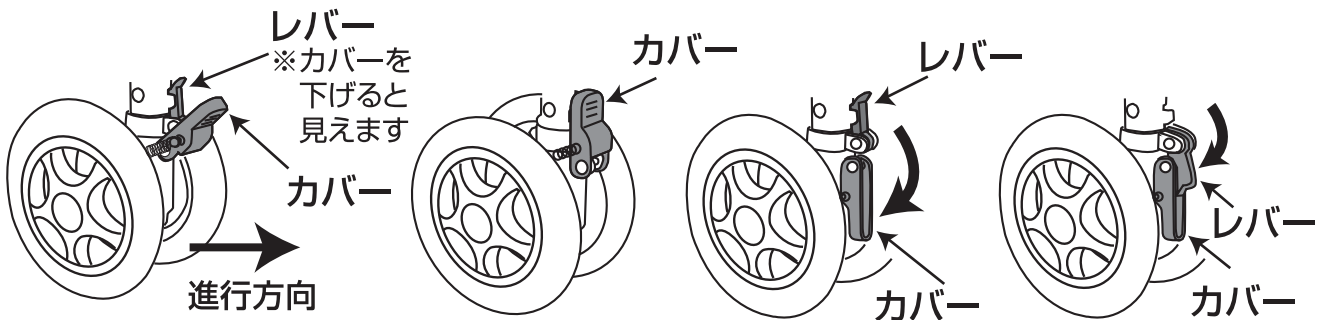
キャスターは、お好みに応じて、より押しやすいように、3種類 (直進固定、左右45°、回転) に調節出来ます。

まず車輪を直進方向にまっすぐ向けて下さい。

・カバー、レバーとも上げると直進固定。

・カバーを下げると左右45°

・カバー、レバーとも下げると回転。



! 注意 左右のキャスターは同じ調節にしてください。

駐車ブレーキロックのかけ方

① ハンドブレーキをいっぱいにする。

駐車ブレーキロックを掛ける。

② はずす時もハンドブレーキをいっぴいにぎって駐車ブレーキロックをはずす。

! 注意 長時間掛けたままにしないこと
歩行時は必ず解除すること



座面の使用方法

- ① 駐車ブレーキロックをかける。



警告

- ・座面に腰をかけるときは、必ず駐車ブレーキロックを掛けて下さい。
- ・座面に人を座らせたまま押したりしないこと。
- ・傾斜地では座面を使用しないこと。

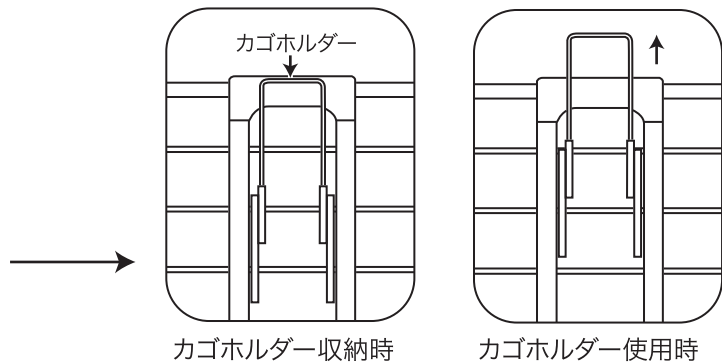
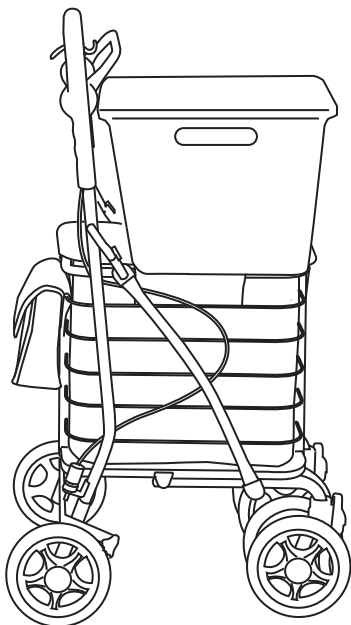
- ② 前方よりゆっくり座面の中央に座って下さい。



注意

- ・座面を踏み台代わりに使用しないこと。
- ・座面に浅く座ったり、強く寄りかかったりしないこと。
- ・座面を使用する場合は、決してハンドルにもたれかからないで下さい。
- ・カゴホルダーはおろして下さい。

カゴホルダーの使い方



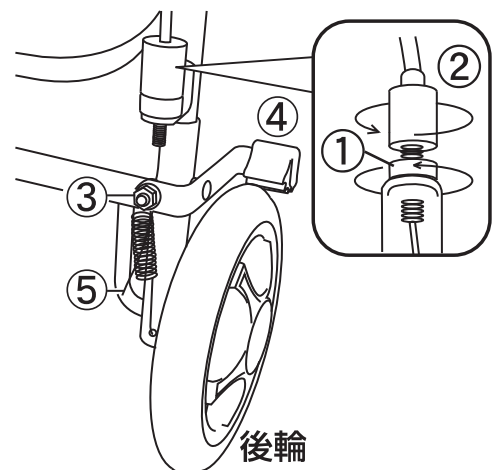
カゴホルダーを使用する時は、カゴホルダーを引き上げて下さい。

- ⊘ **禁止** 店内以外では、座面の上に物(カゴ)を載せての使用はしないで下さい。

ブレーキの調整

- ②ナットを↺ 左に廻すとブレーキが掛かりやすくなります。ハンドブレーキの調子をみながら良い時点で①ナットを↻ 右に廻して締めて下さい。

上記でも掛からない場合は、③ナットをゆるめ、④ブレーキ板を車輪に近づけて、⑤ワイヤーを引っ張り③をゆるまない様に締めて下さい。



- ⚠ **注意** ④ブレーキ板と車輪のすき間をせまくしすぎると、操作が固くなったり、故障の原因になります。

保管のしかた

1. 本体や車輪についた泥などの汚れは、やわらかいブラシや布で拭いて落として下さい。
2. ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めたものを含ませて、ぬぐった後、乾いた布でよく拭いて下さい。
3. 保管は直射日光をさけ、雨ざらしにしないで下さい。
4. シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないで下さい。

製品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。